

第1回中野区空家等対策審議会 議事要点

主な事項		検討の方向性
①	空家等対策における検討対象 (戸建て住宅及び集合住宅)	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策基本計画検討の中では、基本的に戸建て住宅を主な対象とする ・集合住宅における空家についても議論から除外せず、基本計画に可能な範囲で盛り込むと同時に、今後の中野区における住宅政策検討の考え方にも反映していく
②	空家等対策における補助金 (耐震化、除却等)のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・現在実施中の耐震診断助成や防災まちづくりに係る一部地域での空家除却費助成のほか、国及び都の助成制度も含め、補助金のあり方について整理する
③	狭隘道路と空家の関連	<ul style="list-style-type: none"> ・区内で狭隘道路に接する空家について整理・分析を行い、法的な面も含め、狭隘道路が空家に及ぼす影響について検証する
④	中野区における賃貸住宅の市場動向	<ul style="list-style-type: none"> ・家賃の安さよりも設備の充実が重視される傾向にある中で、設備のリニューアルだけに頼らない賃貸住宅の付加価値(居住者ニーズ)について検討する ・賃貸住宅の新規供給が需要を上回っている現状において、住宅政策のあり方や家主の意識について整理する
⑤	空家所有者の意識(節税対策、建替え意欲等)	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等に関する税制(相続税、固都税等)について整理する
⑥	地域への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民の声を聴くなど、空家が地域に及ぼす影響を整理する
⑦	空家対策の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・検討の前提として、自己使用と賃貸活用の分類を明確にする ・高齢者等の住宅困窮者と空家のマッチング策を検討 ・「中野」ブランドを活かした、前向きな空家活用策の検討